

報道機関各位

株式会社 デコス



デコス、カーボンフットプリントを更新、自社比約 16%※削減！

～建築用断熱材「デコスファイバー」の CFP 値を更新～

株式会社デコス(代表取締役 安成信次 山口県下関市 以下、デコス)は、平成 26 年 12 月 5 日、建築用断熱材『デコスファイバー(新聞紙をリサイクルしたセルロースファイバー断熱材)』において、カーボンフットプリント(以下、CFP)マークの数値更新を実施しました。

今回の更新は、既存の山口工場に加え新たに関東工場(埼玉県飯能市)を設けたことによるもので、CFP 数値を再計算した上、第三者による数値検証を実施しました。

新しい CFP 値は 10kg(小数点第一位四捨五入)。旧 CFP 値 11.9kg (2011 年 11 月)で自社比約 16%※の削減を達成しました。(※国の試行事業から CFP 制度民営化に伴う算定ルールの変更により、一部のデータ収集項目が異なるため、すべてが前回と同一条件での算定比較ではありません。)

これは、製造拠点を 2 カ所とすることによる輸送距離の大幅な短縮、加えてモーダルシフト(鉄道輸送+トラック輸送)推進により輸送効率を向上させ、流通段階での温室効果ガス排出量を大幅な削減に繋がったことが大きな要因となっています。またさらに、両工場の電力消費量を細分化し、製造工程における電力消費量を把握する等、より細かく排出量を見える化する取組みを進めました。

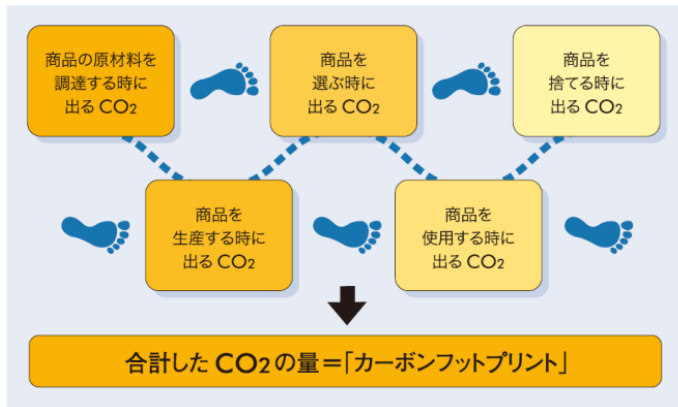
『デコスファイバー』は、新聞紙を主原料に解繊した綿状の断熱材で出荷量は年間約 2,400 t。全国のデコス施工代理店を通じて、主に木造戸建住宅の屋根・天井・壁・床へ、乾式吹込み工法「デコスドライ工法」にて責任施工を行っています。

デコスでは、『デコスファイバー』が他の断熱材と比較して、製造時の CO₂ 排出量が極めて低いことや、「デコスドライ工法」により壁体内に隙間なく充填できる施工性の良さ、建物自体の省エネルギー性を担保しやすいことから、その省 CO₂ 性能を第三者による評価を受けた数値として公表するため、CFP 制度試行事業(経済産業省他)及び CFP コミュニケーションプログラム(一般社団法人産業環境管理協会)への取組みを推進してきました。

新たな CFP マークを表示した『デコスファイバー』は、近日出荷開始予定です。

デコスでは、建築用断熱材分野におけるカーボンフットプリントやどんぐりポイント制度など、カーボンマーケティングとして関連する各種制度の牽引役を引き続き担うとともに、公共建築物等の木材利用促進や、今後普及が進む LCCM 住宅・CASBEE などを通じて、低炭素社会に向けた建築業界での CO₂ 排出量削減や環境に対する意識向上に、デコスドライ工法のさらなる発展をつなげていく考えです。

●カーボンフットプリント(CFP)とは？



商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO2 量に換算して、当該商品・サービス等の単位で分かりやすく表示する仕組み。

●デコスファイバー新 CFP 値

デコスファイバー 1袋 15kg の新 CFP 値、ライフサイクル CO2 算定結果は以下のようになります。



新 CFP 値 10kg-CO₂e

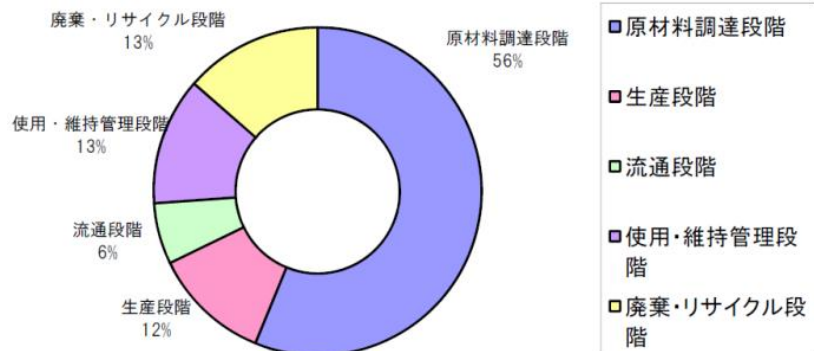


デコスファイバー15kg/袋



認定証

内訳(ライフサイクル段階別)	
原材料調達段階	5.8 Kg-CO ₂ e
生産段階	1.2 Kg-CO ₂ e
流通段階	0.62 Kg-CO ₂ e
使用・維持管理段階	1.3 Kg-CO ₂ e
廃棄・リサイクル段階	1.4 Kg-CO ₂ e
CFP算定結果	10 Kg-CO₂e



内訳(ライフサイクル段階別)

今回の算定では、流通段階の負荷を約 1/3 に出来たことが大きな要因となり、旧 CFP 値 11.9kg (2011 年 11 月) で自社比約 16%の削減を達成しました。

●お問合せ先



東京都中央区日本橋本石町 3-3-8 日本橋優和ビル 8F
株式会社デコス 東京 OFFICE 担当: 田所
TEL: 03-3516-8056 Mobile: 080-6408-4266